

彼方 「かなた」

校長通信
H29.9.9
Vol.13

【体育祭で伝えたかったこと】

(開会式)



私たちは四月から「みがき合い・支え合う、心豊かでたくましい生徒」を目指して学校生活を送ってきました。そして夏休み明けからは、氏家実行委員長を中心に心をひとつにして、今日の体育祭を成功させるために一生懸命準備を

進めてきました。今日は絶好の運動会日和です。まさに皆さんの晴れ舞台が整いました。あとは一人一人が主役として、「観に来てくれた方々に笑顔と元気を届ける」ことができるかどうかです。競争だから勝ったり負けたり、一位になったりビリになったりします。でも、観ている人が心動かされるのは、結果ではなく最後まであきらめない姿です。頑張っている姿です。仲間と力を合わせて協力している姿です。明るい笑顔で挨拶したり、声を取りに応援したり、真面目に係活動に取り組んだり、些細なことでも皆でまとまった一生懸命さが人の心を揺さぶるのです。

我孫子市教育委員会教育長の倉部俊治様を始めとする多くのご来賓の皆様、早朝より来ていただいた多くの保護者の皆さん、そして地域の方々に心から

感謝し、真剣な発表を通して、目いっぱい笑顔と元気をお届けできたいと思います。

今日一日、白山中のグ

ラウンドをみんなの一生懸命さで一杯に満らし、終わった時にもう一度同じ体育祭がやりたいと思えるような悔いのない体育祭を創りあげて欲しいと思います。

(閉会式)

一〇〇点以上の出来でした。皆さんの一生懸命さが伝わってきました。元気をもらいました。ありがとう！ご来賓の皆さん、保護者の皆さん、そして地域の皆さん、生徒たちの一生懸命さが伝わったでしょうか？笑顔と元気を持って帰れるでしょうか？早朝より最後まで一日お付き合いいただき、本当にありがとうございました。

勝っても負けても一生懸命やったという事は残ります。明日からの学校生活の中でも、「自分の頑張っている姿が周囲を元気にし、笑顔をつくる」ということを忘れずに生活して欲しいと思います。

家に帰ったら頑張れた自分に見えない金メダルをかけてあげてください。本当に素晴らしい体育祭がありました。

【体育祭を終えて】

体育祭実行委員、応援団、生徒会役員がリーダーシップを発揮し、短い時間で練習に取り組み、当日は全校の素晴らしいパフォーマンスを引き出してく



れました。そしてたくさん感想をいただきました。挨拶してくれる生徒が沢山いて元気をもらえました。学校だけでなく登校途中に会釈してくれる生徒も増えているのが素敵です。」

「最後まで諦めないで走る生徒の姿は本当にいいですね。」

「体育祭ってこんなに盛り上がりましたっけ？」

「自分ももう一度参加してみたい。」

「応援のクオリティが高くなったかも。」

「生徒の表情がいいですね。入場のところからひきつけられました。」

「ピブスを付けている係の生徒が一生懸命動いているのに感激しました。」

「涙が出ました。」

「元気をもらえました。中学生の体育祭は熱があつてとってもいいですね。」

学校行事では、生徒が主体的に活動できるように、教師が支援しながら生徒と一緒に活動しなければなりません。指示や命令だけで動くのではないことを教師も生徒も学ばなければなりません。本番当日だけでなく、日頃からそういう意識で日常生活にも取り組む必要があります。そして、何のために行事が生まれ、発表されるのかを学校全体で共有しなければなりません。とても意義深い行事になりました。

三年生に感謝です！

